

アドボカシーとは

みなさんは、「アドボカシー」(意見表明等支援員)という言葉をご存じですか？

私たちの身近な地域や広い世界には、様々な理由により「意思が伝えられない」という状況に置かれている方がいます。そのような人たちに代わり、個人の意思、権利を実現させるしくみがアドボカシーであり、これは、様々な分野において以前から世界的に行われている活動です。

しかし、日本の福祉の現場においてアドボカシーが完全に機能しているとは言えないのが現状です。例えば、老人ホームで虐待といった問題が起こっているように、弱者の権利は侵害されやすい傾向にあります。

ただし、アドボカシー活動を通して弱者を守るしくみを整える事が出来れば、人権保護はもちろん、すべての人が豊かな生活を送ることを実現する事が出来ます。

アドボカシー活動に対して理解を示すのは、国際社会に生きる私たちにとって欠かせないことです。多くの方がアドボカシー活動に対する意識を深め、自分にできる範囲で取り組みを続けていくことは、公平・公正な社会を目指すうえで重要と言えるでしょう。

協和キリン株式会社ホームページより一部抜粋

着任



職員異動のあいさつ

4月1日付で佐治人権福祉センターの配属になりました湯澤美希(ゆざわみき)と申します。

不慣れな点も多くご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、地域の皆さんとの交流を大切に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

人権福祉員 湯澤 美希

退職



3月31日をもって佐治人権福祉センターを退職することとなりました。

1年間という短い期間でしたが、皆さまには温かく迎えていただき心より感謝申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

人権福祉員 坂本 理世



事業・行事の様子



ふれあい健康教室

4月8日に行われたふれあい健康教室では、保健師さん、歯科衛生士さんに、健康チェック、虫歯と歯周病についてお話していただきました。

また、しゃんしゃん体操でたくさん体を動かした後、減塩食についてクイズ形式で学び、歯磨きの仕方も丁寧に教えていただきました。

5月のふれあい健康教室は13日に行います。皆さまの参加を心よりお待ちしております。



健康相談、噛む力の
検査の様子。

希来里食堂

3月の希来里食堂は、さじ保育園卒園児と佐治小学校卒業生を招き、お楽しみ会を開催しました。

八頭町在住の谷本 清通さんにマジックショーをしていただき、子どもも、大人も楽しい時間を過ごしました。

小学校、中学校に上がっても大切な佐治の子どもたち。健康に育ててほしいと願いながら、愛情と栄養たっぷりの食事会になりました。



マジックショーの
様子。

5月カウンセラー・弁護士相談・福司サポートナビ

相談無料・秘密厳守

◇カウンセラー相談

日時 13日、27日（火）
15：00～16：50
定員 2名（先着順1名50分）

◇夜間弁護士相談

日時 15日（木）
18：30～20：30
定員 3名（先着順1名30分）

◇福司サポートナビ

日時 7日（水）
14：00～15：00
定員 4名（先着順1名30分）
※予約が必要です

申し込み先 中央人権福祉センター 鳥取市幸町 151 人権交流プラザ（電話：0857-24-8241）



5月

行事予定



事業名	日程	時間	場所
ふれあい健康教室	5月13日（火）	10時～11時30分	佐治人権福祉センター
希来里食堂	5月25日（日）	10時～14時	
スイーツ教室	5月28日（水）	10時～12時	
さじかふえ（楽しみ活動）	毎週水曜日	10時～12時	
交流教室（ハンドメイド教室）	毎週木曜日	10時～14時	
太鼓教室	毎週土曜日	19時30分～21時	